

臨床研究情報

当院で膀胱癌に対して膀胱全摘術を受けられた患者さん・ご家族様へご協力をお願い

NTT 東日本関東病院 病理診断科では、以下の臨床研究を実施しております。

この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身の診療情報を使用してほしくないとのご意思がある場合には、遠慮なく下記の問い合わせ先、もしくは倫理・医療監査委員会事務局までご連絡ください。

研究課題名

膀胱全摘術時の尿管断端の組織像の検討

研究実施機関

NTT 東日本関東病院 病理診断科

研究責任者

NTT 東日本関東病院 病理診断科 森川 鉄平

研究の意義と目的

膀胱全摘術時には尿管断端の術中迅速診断を行い、病変が取り切れているかどうかの判断を行います。本研究では、尿管断端の術中迅速診断の標本を見直し、良性と悪性の判断が難しかった標本について検討を行います。この検討により、正しい診断を行うための標準化・精度向上を目指します。

対象となる方

2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに当院にて膀胱癌に対して膀胱全摘術を行い、その際に尿管断端の術中迅速診断が行われた患者さん。

実施方法

診療録（電子カルテ）より、年齢、性別、基礎疾患、過去の膀胱癌の組織型や深達度を調査します。過去に他の病院で膀胱癌に対する治療がされた方については、必要に応じて他院に過去の膀胱癌の情報を問い合わせます。また、尿管断端の術中迅速診断標本の見直しを行い、必要に応じて免疫染色を追加して検討します。本研究で利用される臨床試料はすでに収集されている検体になります。そのため、本研究による患者さんへの物理的な侵襲・心理的負担は生じません。

実施期間

倫理委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで

個人情報の取り扱い

本研究では、お名前やご住所などの個人を特定できる情報は削除し、匿名化したうえでデータを取り扱います。

研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、個人が特定されることはありません。

また、本研究に関する資料は研究終了後 5 年間適切に保管し、その後は個人が特定できない形で廃棄いたします。

費用

本研究に参加することによる新たな費用負担はありません。

利益相反

本研究に関して開示すべき利益相反はありません。

同意の撤回

ご本人または代理人の求めがあれば、本研究への参加を拒否することができます。その場合は収集した情報を破棄いたします。ただし、すでに解析が終了している場合には、データの削除ができない場合があります。

なお、研究への参加を拒否された場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

問い合わせ窓口

NTT 東日本関東病院 病理診断科 森川 鉄平

東京都品川区東五反田 5-9-22

電話番号 03-3448-6111（代表）